

2019 年および 2020 年度の学生の授業評価結果および成績比較からみた遠隔講義の検証 に関する研究のお知らせ

帝京大学医療技術学部では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間： 2023 年 8 月 16 日 ～ 2024 年 12 月 31 日

〔研究課題〕

2019 年および 2020 年度の学生の授業評価アンケート結果および成績比較からみた遠隔講義の検証

〔研究目的〕

コロナ禍による遠隔講義がさまざまな高等教育の現場（教員養成校、総合大学、医療系においては、薬学、理学療法士養成校）において行われ、報告されてきました。こうした先行研究においては、遠隔講義においても学生は知識やスキルを身につけることができたと考えられること、遠隔講義で孤独を感じている学生にとって、遠隔によるグループワークは有用であること、薬学分野においては学習者自身の授業への参加意識が講義内容の理解の度合いや定期試験成績に大きくかかわっていることなどが示されています。また、課題としては教員・学生ともに ICT の利活用能力を高める必要があることも示されています。一方で、とくに臨床検査養成校における、遠隔講義への学生対応状況と意識、遠隔講義と成績との関連、さらには国家試験成績との関連等の情報が皆無であり、今後遠隔講義を含めた ICT 教育に向けた課題を明らかにしていく必要があると考えられました。本研究を通して本学臨床検査技師学科に属する 1 年次から 4 年次学生が 2019 年度および 2020 年度に行った授業評価アンケートの結果から、学生の勉強時間および勉強への意識を、対面講義および遠隔講義間比較するとともに、両講義間における、国家試験成績を含めた学内成績との関係性を明らかにし、コロナ後における ICT 教育への課題を明確にし、さらに臨床検査学科におけるコロナ禍後の ICT 教育を今後推進していくうえでの新たな提案および改善することを目的としています。

〔研究意義〕

臨床検査学科におけるコロナ禍後の ICT 教育を今後推進していくうえでの新たな提案および改善を期待しています。

〔対象・研究方法〕

2019 年度に本学科に在籍した 1 年生 105 名、2 年生 105 名、3 年生 106 名、4 年生 73 名および、2020 年度に在籍した 1 年生 91 名、2 年生 109 名、3 年生 105 名および 4 年生 98 名を対象とし、2019 年度（対面講義に対する情報）および 2020 年度（遠隔講義における情報）におこなわれた 1 年次から 4 年次学生の授業評価アンケート結果をもとにクロス集計を行い、年度によって回答に差がみられるかを検証するとともに、両年度における定期試験成績および国家試験結果について有意差が存在するかを検証する後ろ向き研究を実施します。なお、統計解析には SPSS (Ver28) を用いて行います。

〔研究機関名〕

帝京大学医療技術学部臨床検査学科

〔個人情報の取り扱い〕

アンケート結果および成績について個人特定ができないよう配慮します。なお、本研究について参加拒否を申し込んでも、成績・評価等に影響することはありません。研究終了後は研究者（後藤）の居室の施錠可能なデスクにデータを保管します。

対象となる学生さんで、ご自身のアンケート結果や成績などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：氏名 後藤 一雄 職名 教授
所属： 帝京大学医療技術学部臨床検査学科
住所： 〒173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1
TEL： 03-3964-1211 [内線 44552]